

293-312.

Iwasaki, T., 1990: Lagrangian-mean circulation and wave-mean flow interactions of Eady's baroclinic instability waves, J. Meteor. Soc. Japan, **68**, 347-356.

Japan Meteorological Agency, 1990: Outline of operational numerical weather prediction at Japan Meteorological Agency, Appendix to Progress Report on Numerical Weather Prediction, 128pp.

Kodera, K., M. Chiba, K. Yamazaki and K. Shibata,

1991: A possible influence of the polar night stratospheric jet on the subtropical tropospheric jet, J. Meteor. Soc. Japan, **69**, 715-721.

Matsuno, T., 1971: A dynamical model of the stratospheric sudden warming, J. Atmos. Sci., **28**, 1479-1494.

多田英夫, 1993: 成層圏の予報解析サイクル導入に関する問題, グロースベッター, **31**, 68-78.

露木義, 1993: 延長予報に対する成層圏の分解能の影響, 1993年度秋季大会予稿集.

## 国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集のお知らせ

— 国際学術交流委員会 —

国際交流事業(天気32巻5号P232)の一環として国際学術交流運用規定(天気41巻7号P444)に基づき、国際学術研究集会への旅費もしくは滞在費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

### 記

#### 1. 対象の集会

A: 1995年6月1日～11月30日および

B: 1995年12月1日～1995年5月31日の期間外国で開かれる国際学術研究集会

#### 2. 応募資格

日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定のもの

#### 3. 募集人員

若干名

#### 4. 補助金額

開催地域を考慮し最高15万円程度

#### 5. 応募手続

所定の申請書類(日本気象学会事務局備付)を期日までに国際学術交流委員会(〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内日本気象学会気付)に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。

期日: A 1995年2月28日

: B 1995年8月31日

注: 申請書の様式は断りなく変更することがある。

古い様式の申請書にて応募しても受理しないので注意すること。

#### 6. 補助金受領者の選考・義務

当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ(2000字)程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。